

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	生活支援課
課名	社会福祉課

予算	款	項	目	決算書
	3	3	3	116 頁

目名
母子福祉費

事務事業名称
ひとり親家庭医療助成事業

1. 概要

目的	ひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上	対象	ひとり親家庭の認定を受けた、医療保険に加入している父、母、児童若しくは父母のいない児童
事業概要	<p>○ひとり親家庭医療費助成事業 申請により、ひとり親家庭と認定された家庭に対し、生活の安定と福祉の向上を図るため、医療機関等で支払った医療費の一部を助成</p> <p>受給資格者数及び延助成件数 ①受給資格者・・・母子家庭（母：379人、子：582人）父子家庭（父：34人、子：52人） ②延助成件数・・・母子家庭（母：3,123件、子3,188件）父子家庭（父：202件、子：92件）</p>		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	ひとり親家庭医療費助成事業	医療費の助成 ①1,047人 ②6,605件	扶助費	19,467	17,682	8,841			8,841	3
計				19,467	17,682	8,841	0	0	8,841	

2. 指標設定

成果指標	指標名	ひとり親家庭の生活安定	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			県の補助対象事業であり、ひとり親家庭の生活の安定を目的としているため				
活動指標	指標	a	お知らせ	b	申請件数	c	通知書の発送件数	d	給付
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
ひとり親家庭の生活安定		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a	お知らせ	—	—	—
b	申請件数	6,229 件	6,618 件	6,605 件
c	通知書の発送件数	6,229 件	6,618 件	6,605 件
d	給付	17,175 千円	16,667 千円	17,682 千円

4. 課題と対応

課題
適正な状況把握が大事である
対応（改善点等）
実態を把握し支給の適正化を図る

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

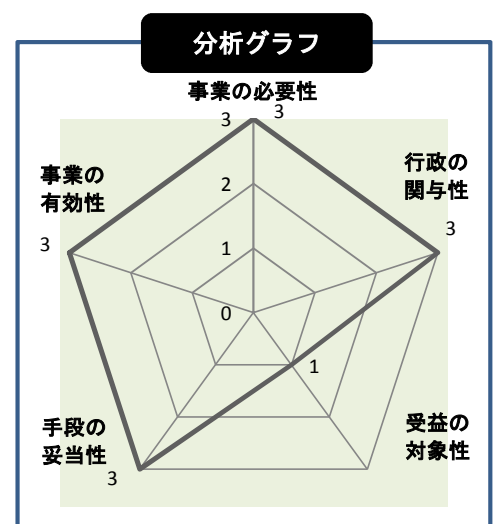
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		17,175	16,668	17,682	19,311
財源内訳	国費				
	県費	8,587	8,333	8,841	9,655
	市債				
	その他				
	一般財源	8,588	8,335	8,841	9,656
うち経常		8,588	8,335	8,841	9,656
事業費に係る人件費		1,493	1,533	1,505	1,503

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
県の補助事業であり、現状を維持する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県の制度のため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により定められているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 ひとり親家庭の認定を受け、医療保険に加入している父又は母及び児童、若しくは父母のいない児童に限られるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 数値目標は設定していないが、事業の有効性は高いと判断できるため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	的確な実態把握を行い、適切、効率的な事業を実施すること